

安全性データシート

改定日: 2023年1月8日

前作成日: 2021年1月25日

SDS番号: 173A-23

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

715 Spraflex® (エアゾール)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: チェンドライブ、オープンギア、ワイヤーロープ用の石油ベース潤滑剤。

使用上の制限: データなし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

エアゾール、区分 1, H222, H229

皮膚の炎症、区分 2, H315

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)、区分 3, H336

2.1.2. 追加情報

H (危険) ステートメントの全文: セクション 2.2 および 16 を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 危険

危険有害性情報: H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール。  
H229 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ。  
H315 皮膚刺激。  
H336 眠気やめまいのおそれ。

<b>使用上の注意:</b>	P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
	P211	裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
	P251	使用後の含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
	P261	蒸気/スプレーの吸入を避けること。
	P264	使用后、手を充分洗浄してください。
	P271	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
	P280	保護手袋を着用すること。
	P312	気分が悪い時は医師に連絡すること。
	P410/412	日光から遮断し、50° C 以上の温度に暴露しないこと。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

既知の影響なし

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
水素化精製軽質石油留分	15-24	64742-47-8	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 皮膚刺激性 2, H315 STOT 単回暴露 3, H336 水生慢性 3, H412	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 5 mg/l
プロパン	7-13	74-98-6	引火性ガス 1, H220 圧縮ガス, H280	ATE (吸入、蒸気): 658 mg/l
ブタン*	5-10	106-97-8	引火性ガス 1, H220 圧縮ガス, H280	ATE (吸入、蒸気): 30.957mg/l
m-キシレン	1-5	108-38-3	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 急性毒性 4, H332, H312 皮膚刺激性 2, H315 眼刺激性 2, H319 STOT 単回暴露 3, H335 水生慢性 3, H412	ATE (経口): 3,523 mg/kg ATE (経皮): > 4,200 mg/kg ATE (吸入、蒸気): 27.124 mg/l
モルホリン	0.1-0.9	110-91-8	引火性液体 3, H226 急性毒性 3, H311, H331 急性毒性 4, H302 皮膚腐食性 1B, H314 眼に対する重篤な損傷性 1, H318	ATE (経口): 1,910 mg/kg ATE (経皮): 500 mg/kg ATE (吸入、蒸気): 8 mg/l
その他の成分 <sup>1</sup> :				
蒸留物(石油)、水素化処理されたナフテン酸**	50-60	64742-52-5	分類されていません	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 5 mg/l

H(危険)ステートメントの全文：セクション16を参照。

\*1,3-ブタジエンの含有量は0.1 % w/w 以下です。\*\*IP 346の測定によるとDMSO抽出物の含有量は3%以下。

分類基準： \* 労働安全衛生法  
\* 毒物および劇物取締法  
\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

**吸入：** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。直ちに医師の診断を受けてください。

**皮膚への付着：** 石鹸水で皮膚を洗浄してください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**目に入った場合：** 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後最低10分間洗浄を続けてください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**呑み込んだ場合：** 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

**応急手当を行う人の保護：** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。蒸気の吸入を避けること。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

### 4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

皮膚刺激。目に入ると刺激を与えます。蒸気を大量に吸込むと、目や呼吸器系の炎症、めまい、頭痛など中枢神経の異常を起こします。

### 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

## セクション 5: 火災時の処置

### 5.1. 消火剤

**適切な消火剤：** 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡 あるいは 水スプレー

**不適切消火剤：** 大量の水噴射

### 5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

**有害な燃焼生成物：** 一酸化炭素、アルデヒド、硫酸水素塩、その他の有毒煙。

**その他の危険性：** 水で発泡することがあります。高圧容器は加熱すると爆発する危険があります。

### 5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

## セクション 6: 漏出時の処置

### 6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。発火源に近づけないでください。禁煙。発火源が除去できなければ、水で洗い流してください。

### 6.2. 環境に対する注意

流出分は小さな場所に回収してください。下水、河川、水路に流さないでください。

### 6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

吸収性の材料（砂、おがくず、クレー等）で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

### 6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

使用前に十分振ってください。炎や白熱した材料に直接スプレーしないでください。発火源から離してください。禁煙。蒸気 / スプレーを吸込まないでください。

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。空気より重い蒸気は低部に溜まります。飲食や喫煙の前に手を洗ってください。製品が加熱されている場合は十分に換気してください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

加圧容器：直射日光を避け、50° C 以下で 保管してください。使用後も穴をあけたり焼却したりしないでください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

**セクション 8: 暴露防止及び保護措置****8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
水素化精製軽質石油留分	N/A	N/A	212 *	1200 *
プロパン	N/A	N/A	N/A	N/A
ブタン	500	1,200	1,000 (STEL)	N/A
m-キシレン **	50	217	100 STEL: 150	434
モルホリン ***	N/A	N/A	20	(皮膚)
オイルミスト、鉍物物	N/A	3	(吸引可能)	5

\* 付録Hに記述されたACGIH TLVs®およびBEIs®の「ある種の精製炭化水素溶剤蒸気混合物の相互算出法」に基づく。

\*\* 欧州連合職業上の被曝限界値： 50 ppm, 221 mg/m<sup>3</sup> (TWA(時間加重平均)) 100 ppm, 442 mg/m<sup>3</sup> (15分)

\*\*\* 欧州連合職業上の被曝限界値： 10 ppm, 36 mg/m<sup>3</sup> (TWA(時間加重平均)) 20 ppm, 72 mg/m<sup>3</sup> (15分)

**生物学的限界値**

キシレン:

制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	源泉	注
Methylhippuric acids	尿	作業終了時	1.5 g/g クレアチニン	ACGIH	-

**8.2. 曝露制限****8.2.1. 設備対策**

通気の良い場所でのみ使用してください。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

**8.2.2. 作業員の保護対策**

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください。(例: 欧州規格フイルタータイプ A/P)。

**手袋:** 耐薬品性手袋(例: Viton\*, ネオプレン、ニトリル)\*DuPont 社の登録商標。

**目 / 顔の保護:** 安全メガネ

**その他:** 繰返しあるいは長時間にわたる皮膚への付着を防ぐ不透性の衣服。

## 8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

## セクション 9： 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	高粘性の液体	pH	適応せず
色	黒	動粘	≥ 57.87 cSt @ 40° C @ 40° C @ 40° C (計算値、製品のみ)
臭気 においの閾値	強い石油臭 未定	水溶性	不溶性
沸点、初留点及び沸騰範囲	139° C, 製品のみ	分配係数: n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
融点・凝固点	未定	20・Cでの蒸気圧	未定
揮発率%(容量比)	35%, 製品のみ	相対密度	0,917 kg/l
引火性	発火可能	蒸気密度(空気=1)	> 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	LEL(爆発下限) 1.1%; UEL(爆発上限) 9.0%	蒸発率(エーテル=1)	< 1
引火点	41° C, 製品のみ	重量比芳香物含有率(%)	< 6
方法	PM閉カップ	爆発性	未定
自己発火温度	未定	酸化性	未定
分解温度	未定	粒子特性	適応せず

## 9.2. その他の情報

なし

## セクション 10： 安定性及び反応性

## 10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

## 10.2. 化学的安定性

安定

## 10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

## 10.4. 避けるべき条件

炎、熱、スパーク、および高熱表面。

## 10.5. 配合禁忌薬品

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

## 10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、アルデヒド、硫酸水素塩、その他の有毒煙。

## セクション 11： 有害性情報

## 11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。皮膚炎のある作業員が晒されると、一般に症状が悪化します。

## 急性毒性 -

経口： 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物 > 5000 mg/kg.

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	致死量50(LD50)、ラット	> 5,000 mg/kg
m-キシレン	致死量50(LD50)、ラット	3,523 mg/kg
蒸留物(石油)、水素化処理されたナフテン酸	致死量50(LD50)、ラット	> 5,000 mg/kg
モルホリン	致死量50(LD50)、ラット	1,910 mg/kg

経皮： 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物 = 19.264 mg/kg.

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	致死量50(LD50)、うさぎ	> 2,000 mg/kg
m-キシレン	致死量50(LD50)、うさぎ	> 4,200 mg/kg
蒸留物(石油)、水素化処理されたナフテン酸	致死量50(LD50)、うさぎ	> 2,000 mg/kg, 推定
モルホリン	致死量50(LD50)、うさぎ	500 mg/kg

吸入： ATE-混合物 = 217.8 mg/l (蒸気). 蒸気を大量に吸込むと、目や呼吸器系の炎症、めまい、頭痛など中枢神経の異常を起こします。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	> 5.28 mg/l (蒸気)
プロパン / ブタン	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	658 mg/l
m-キシレン	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	27.124 mg/l (蒸気)
モルホリン	致死濃度50(LC50)、ラット、4時間	8 mg/l (蒸気)

皮膚腐食性/刺激性： 皮膚刺激。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	皮膚の炎症、うさぎ	炎症なし かすかな炎症 かすかな刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 目に入ると刺激を与えます。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	目の炎症、うさぎ	炎症なし かすかな炎症

呼吸器または皮膚の感作： 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
水素化精製軽質石油留分	皮膚の感作、モルモット	過敏性なし
キシレン	皮膚の感作、マウス	過敏性なし

胚細胞突然変異原性： 水素化精製軽質石油留分、m-キシレン: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

<b>がん原性：</b>	本製品は、国際がん研究機関 (IARC) あるいは欧州化学機関 (ECHA) の規定する発がん性物質を含有していません。
<b>生殖毒性：</b>	水素化精製軽質石油留分、m-キシレン、入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>STOT - 単回暴露：</b>	眠気やめまいのおそれ。
<b>STOT - 反復暴露：</b>	水素化精製軽質石油留分、m-キシレン： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>吸引性呼吸器有害性：</b>	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
なし	

**セクション 12： 環境影響情報**

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

**12.1. 毒性**

オイル製品は誤って環境に放出されると土地や水の汚染の原因となることがあります。

**12.2. 持続性・分解性**

m-キシレン、水素化精製軽質石油留分、プロパン、ブタン： 生分解は大気環境で数日から数週間以内に起こります。m-キシレン： 易生分解性。水素化精製軽質石油留分、蒸留物(石油)、水素化処理されたナフテン酸： 本来生分解性。

**12.3. 生物蓄積の可能性**

m-キシレン： 生体内蓄積の可能性低。水素化精製軽質石油留分： オクタノール / 水分配係数 (log Kow) = 2.1-5 (推定)。蒸留物(石油)、水素化処理されたナフテン酸： 特定の成分は魚や水生生物内で生体内蓄積することがあります。

**12.4. 土壤中の移動性**

液体。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。溶剤(m-キシレン、水素化処理された蒸留物[石油])は環境に放出されると急速に空气中に蒸発します。m-キシレン： 土壌内の移動性は中程度とされています。

**12.5. PBT・vPvB評価の結果**

入手不可

**12.6. その他の悪影響**

既知の影響なし

**セクション 13： 廃棄上の注意****13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。下水、河川、水路に流さないでください。未使用あるいは使用済みの製品は焼却か燃料融和するよう規定されているかもしれません。圧力容器あるいは密封用器は認可された設備で焼却してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

**セクション 14： 輸送上の注意****14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN1950

**14.2. UN固有輸送名**

ICAO: Aerosols, Flammable

IMDG: Aerosols

ADR/RID/ADN: Aerosols, *flammable*

**14.3. 輸送危険性分類**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 2.1

**14.4. 梱包グループ**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

**14.5. 環境への危険性**

環境危険性なし

**14.6. ユーザーへの特別な注意**

使用に関する特別な注意はなし

**14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード**

適応せず

**14.8. その他の情報**

IMDG: EmS. F-D, S-U, Shipped as Limited Quantity

ADR: 分類コード 5F, トンネル制限コード (E), Shipped as Limited Quantity

**セクション 15: 適用法令****15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品:	クラスII薬品:
	2660Xylene モルホリン	なし
<b>その他の国内規制:</b> 消防法: 危険物 第4類第2石油類 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 優先評価化学物質: m-キシレン、モルホリン 旧第二種監視化学物質: モルホリン 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: 水素化精製軽質石油留分、ブタン、m-キシレン、蒸留物(石油)、水素化処理されたナフテン酸 危険物(分類: 引火性の物): m-キシレン 危険物(分類: 可燃性のガス): プロパン、ブタン 第二種有機溶剤等: m-キシレン 作業環境評価基準で定める管理濃度: m-キシレン、50 ppm 毒物及び劇物取締法 劇物: m-キシレン、モルホリン 大気汚染防止法 有害大気汚染物質: m-キシレン、モルホリン 水質汚濁防止法 指定物質: m-キシレン		



**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧:** ACGIH: 米国産業衛生専門家会議  
ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
ATE: 急性毒性推定値  
BCF: 生物濃縮係数  
cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
GHS: 世界調和システム  
ICAO: 国際民間航空機関  
IMDG: 国際海上危険物規定  
LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量  
LOEL: 最小作用量  
NOEC: 最大無作用濃度  
NOEL: 最大無作用量  
N/A: 該当せず  
PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
PEL: 許容暴露限度  
REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
SDS: 安全性データシート  
STEL: 短時間暴露許容濃度  
STOT: 特定標的臓器毒性  
TLV: 暴露限界  
vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
その他の略語は[www.wikipedia.org](http://www.wikipedia.org)で調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
スウェーデン化学物質庁(KEMI)  
米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)  
化学分類および情報データベース(CCID)

## GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
エアゾール 1, H222, H229	成分および包装ベース
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
STOT 単回暴露 3, H336	架橋原理「希釈」

関連するH(危険)-ステートメント:

- H220: 極めて可燃性/引火性の高いガス。
- H226: 引火性の液体および蒸気。
- H280: 加圧ガス; 熱すると爆発のおそれ。
- H302: 飲み込むと有害。
- H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
- H311: 皮膚に接触すると有毒。
- H312: 皮膚に接触すると有害。
- H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
- H315: 皮膚刺激。
- H318: 重篤な眼の損傷。
- H319: 強い眼刺激。
- H331: 吸入すると有毒。
- H332: 吸入すると有害。
- H335: 呼吸器への刺激のおそれ。
- H336: 眠気やめまいのおそれ。
- H412: 長期的影響により水生生物に有害。

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: セクション 2.2, 8.1, 15.1.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。